

証券コード：5401



# 2022年度 2Q決算 参考資料

2022年11月1日

日本製鉄株式会社

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値





# 参考資料

## 1. 主要諸元・財務指標

2. 事業環境指標

3. 市況データ等

4. 諸施策進捗状況

# 1-1-1. 数量関連 (四半期)

今回見通し数値は全て11/1時点 概算  
(前回見通しは8/4時点概算)

	FY21							FY22					
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q	2Q	上期	下期 見通し	前年度 見通し	年度 見通し
単独出銑量 (万t)	1,004	989	1,993	972	875	1,848	3,841	852	829	1,681	1,720		3,400
粗鋼生産量(連結) (万t)	1,188	1,137	2,325	1,106	1,014	2,120	4,446	1,033	987	2,021	1,980	4,100	4,000
粗鋼生産量(子会社) (万t)	170	132	302	142	133	275	578	164	153	317	280	600	600
粗鋼生産量(単独) (万t)	1,018	1,005	2,023	964	881	1,845	3,868	869	834	1,704	1,700	3,500	3,400
鋼材出荷量 (万t)	920	909	1,828	896	831	1,728	3,556	819	749	1,569	1,560	3,200	3,130
シームレス出荷量 (万t)	15	16	31	14	15	29	60	16	18	34	36		70
輸出比率(売上高 <sup>^</sup> -入) (%)	43	45	44	42	39	40	42	48	42	45	43		44
鋼材販売価格 (千円/t)	97.2	116.1	106.6	124.4	134.6	129.3	117.7	140.0	152.7	146.0	158		152
為替レート (¥/\$)	110	110	110	113	115	114	112	126	137	132	150	136	141

出典：当社推定

# 1-1-2. 数量関連 (年度)

今回見通し数値は全て11/1時点 概算  
2020年4月1日に旧日鉄日新製鋼と合併

4

	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	*1 FY19	FY20	FY21	FY22 見通し
単独出銑量 (万t)	4,480	4,491	4,251	4,215	4,061	4,086	4,009	4,257	3,307	3,841	3,400
粗鋼生産量(連結) (万t)	4,816	4,732	4,453	4,517	4,682	4,784	4,705	4,705	3,765	4,446	4,000
粗鋼生産量(子会社) (万t)	249	236	236	255	*2 615	684	751	520	465	578	600
粗鋼生産量(単独) (万t)	4,567	4,496	4,217	4,262	4,067	4,100	3,954	4,185	3,300	3,868	3,400
粗鋼生産量 *3 (旧日新呉合算 単独粗鋼) (万t)	4,884	4,823	4,531	4,556	4,345	4,373	4,185				
鋼材出荷量 (万t)	4,202	4,188	3,962	3,978	3,779	3,797	3,631	3,870	3,122	3,556	3,130
シームレス出荷量 (万t)	120	118	83	93	96	103	97	97	63	60	70
輸出比率(売上高 <sup>^</sup> -入) (%)	46	47	45	42	41	40	40	38	36	42	44
鋼材販売価格 (千円/t)	86.0	87.2	77.1	72.6	84.7	89.9	87.3	88.3	86.1	117.7	152.0
為替レート (¥/\$)	100	109	121	109	111	111	109	109	106	112	141

出典：当社推定 \*1 旧日鉄日新製鋼合併後の想定値 \*2 2017.3月 旧日鉄日新製鋼 子会社化 \*3 旧新日鉄住金(FY13~FY18)/日本製鉄(FY19)単独 + 旧日鉄日新製鋼呉

# 1-2-1. 収益関連 (四半期)

今回見通し数値は全て11/1時点 概算  
(前回見通しは8/4時点概算)

5

	FY21							FY22					
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	年度	1Q	2Q	上実	下見	前年度 見通し	年度 見通し
連結売上収益 (億円)	15,031	16,607	31,639	17,785	18,664	36,449	68,088	19,191	19,552	38,744	41,256	80,000	80,000
製鉄 (億円)	13,515	14,998	28,514	16,148	16,874	33,022	61,536	17,502	17,783	35,286	36,714	72,000	72,000
エンジニアリング (億円)	591	647	1,238	713	840	1,553	2,792	709	930	1,640	2,160	3,600	3,800
ケミカル&マテリアル (億円)	578	646	1,225	657	616	1,273	2,498	741	707	1,449	1,651	3,300	3,100
システムソリューション (億円)	664	648	1,312	651	749	1,400	2,713	653	697	1,350	1,550	2,950	2,900
持分法投資損益 (億円)	393	773	1,166	668	311	979	2,145	452	362	814			
連結事業利益 (億円)	2,170	2,608	4,778	2,659	1,943	4,602	9,381	3,388	2,028	5,417	3,283	8,000	8,700
ROS (%)	14.4%	15.7%	15.1%	15.0%	10.4%	12.6%	13.8%	17.7%	10.4%	14.0%	8.0%	10.0%	10.9%
製鉄 (億円)	2,025	2,456	4,482	2,498	1,729	4,227	8,710	3,316	1,841	5,158	2,942	7,400	8,100
エンジニアリング (億円)	▲5	▲24	▲29	25	67	92	63	33	19	53	97	150	150
ケミカル&マテリアル (億円)	62	73	135	65	53	118	253	92	44	136	104	240	240
システムソリューション (億円)	77	68	146	82	80	162	308	66	73	140	170	310	310
個別開示項目 <sup>*1</sup> (億円)	393	▲887	▲494	338	▲816	▲477	▲972	~	~	~	~	~	~
当期利益 (億円)	1,621	1,365	2,987	2,091	1,294	3,385	6,373	2,309	1,414	3,723	2,976	6,000	6,700
ROE <sup>*2</sup> (%)	22.6%	17.9%	20.3%	26.1%	15.4%	20.5%	20.5%	25.7%	14.7%	20.1%			
EBITDA (億円)	2,970	3,421	6,392	3,501	3,008	6,510	12,902	4,204	2,865	7,069	5,131	11,500	12,200

出典：当社推定 \*1 設備休止関連損失、事業撤退損を含む \*2 年率ベース

# 1-2-2. 収益関連 (年度)

今回見通し数値は全て11/1時点 概算

6

	FY13 (日本基準)	FY14 (日本基準)	FY15 (日本基準)	FY16 (日本基準)	FY17 (日本基準)	FY17 (IFRS)	FY18 (IFRS)	FY19 (IFRS)	FY19 (減損除き)	FY20 (IFRS)	FY21 (IFRS)	FY22見 (IFRS)
<b>連結売上収益</b> *1 (億円)	55,161	56,100	49,074	46,328	56,686	57,129	61,779	59,215	59,215	48,292	68,088	80,000
製鉄 (億円)	48,779	49,392	42,839	40,522	50,172	50,172	54,545	52,573	52,573	42,284	61,536	72,000
エンジニアリング (億円)	3,141	3,486	3,157	2,675	2,942	2,942	3,567	3,404	3,404	3,244	2,792	3,800
ケミカル&マテリアル (億円)	2,673	2,491	2,180	2,087	2,377	2,378	2,470	2,157	2,157	1,786	2,498	3,100
システムソリューション (億円)	1,798	2,060	2,189	2,325	2,442	2,442	2,675	2,732	2,732	2,524	2,713	2,900
<b>持分法投資損益</b> (億円)	627	827	442	792	1,227	657	864	384	384	552	2,145	
<b>連結事業利益</b> *2 (億円)	3,610	4,517	2,009	1,745	2,975	2,887	3,369	▲2,844	765	1,100	9,381	8,700
<b>ROS</b> (%)	6.5%	8.1%	4.1%	3.8%	5.2%	5.1%	5.5%	▲4.8%	1.3%	2.3%	13.8%	10.9%
製鉄 (億円)	3,212	4,019	1,600	1,380	2,457	2,457	2,746	▲3,253	356	635	8,710	8,100
エンジニアリング (億円)	177	187	121	68	91	91	94	107	107	177	63	150
ケミカル&マテリアル (億円)	113	92	40	62	173	173	250	184	184	76	253	240
システムソリューション (億円)	127	165	194	221	232	232	265	261	261	239	308	310
<b>個別開示項目</b> *3 (億円)	380	▲755	298	71	▲76	~	▲718	▲1,217		▲986	▲972	~
<b>事業再編損</b> *4	▲186	▲898	▲327	▲191	▲333	~	▲494	▲1,217		▲986	▲972	~
設備休止関連損失等 (億円)	▲186	▲212	▲190	▲127	▲116	~	▲151	▲227		▲799		~
事業撤退損 (億円)	~	▲686	~	▲64	▲61	~	▲174	▲202		▲187		~
減損損失 (億円)	~	~	▲137	~	▲156	~	▲168	▲787		~		~
災害損失 (億円)	~	~	~	▲78	~	~	▲223	~		~	~	~
<b>当期利益</b> *5 (億円)	2,427	2,142	1,454	1,309	1,950	1,808	2,511	▲4,315		▲324	6,373	6,700
<b>ROE</b> (%)	9.6%	7.6%	5.1%	4.6%	6.4%	6.0%	7.9%	▲14.7%		▲1.2%	20.5%	
<b>EBITDA</b> (億円)	6,302	6,695	4,759	4,189	6,580	6,553	7,455	4,668		4,009	12,902	12,200

出典：当社推定 \*1 日本基準：売上高

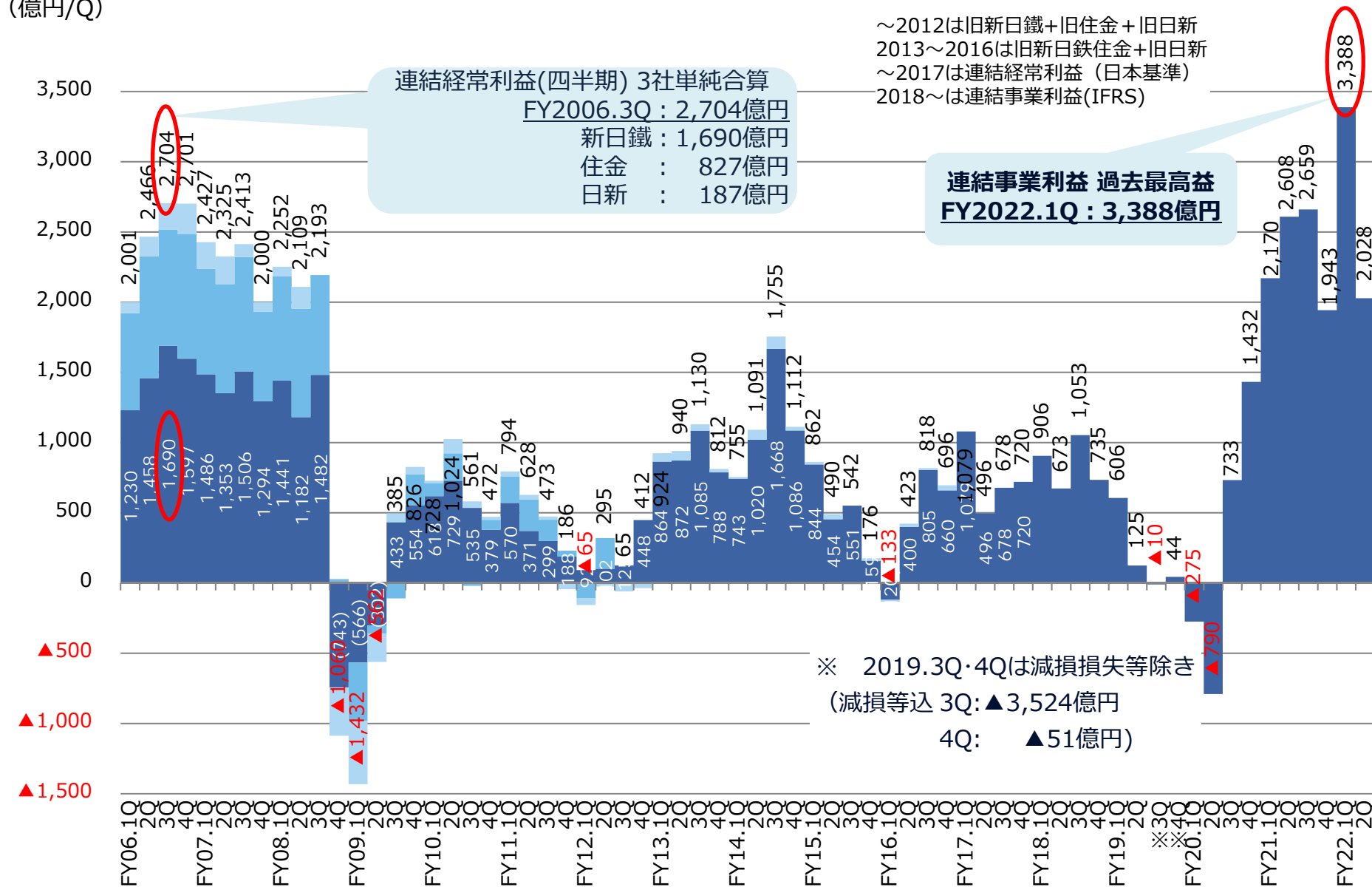
\*2 日本基準：連結経常損益

\*3 日本基準：特別利益(投資有価証券売却益等)+特別損失、IFRS：設備休止関連損失等、事業撤退損、災害損失を含む

\*4 日本基準：特別損失(災害損失を除く) \*5 親会社の所有者に帰属する当期利益、日本基準：当期純利益

# 1-2-3. 連結事業利益推移 (四半期)

(億円/Q)



# 1 - 2 - 3. 連結事業利益推移 (半期)

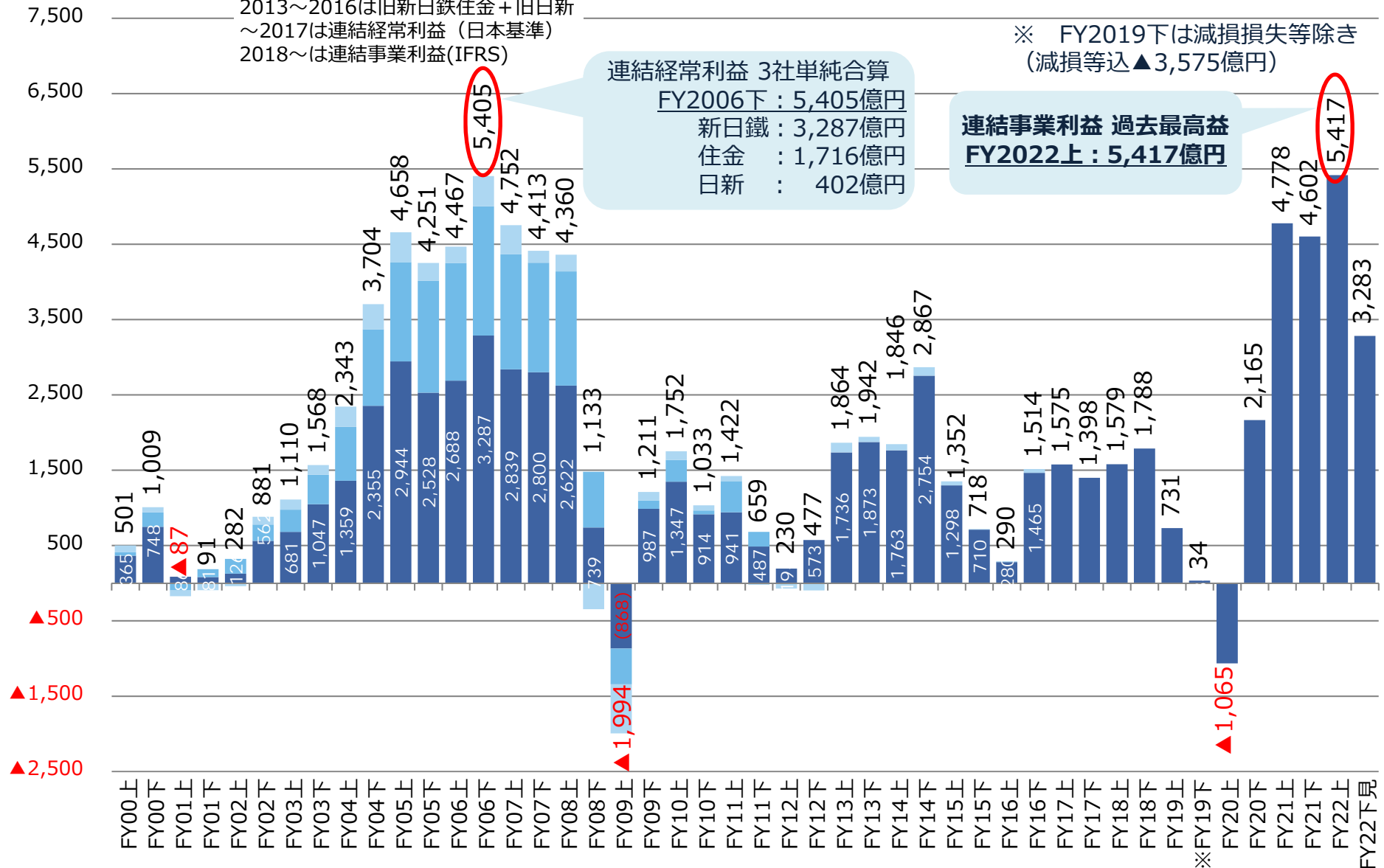
(億円/半期)

～2012は旧新日鐵+旧住金+旧日新  
 2013～2016は旧新日鐵住金+旧日新  
 ～2017は連結経常利益(日本基準)  
 2018～は連結事業利益(IFRS)

※ FY2019下は減損損失等除き  
 (減損等込▲3,575億円)

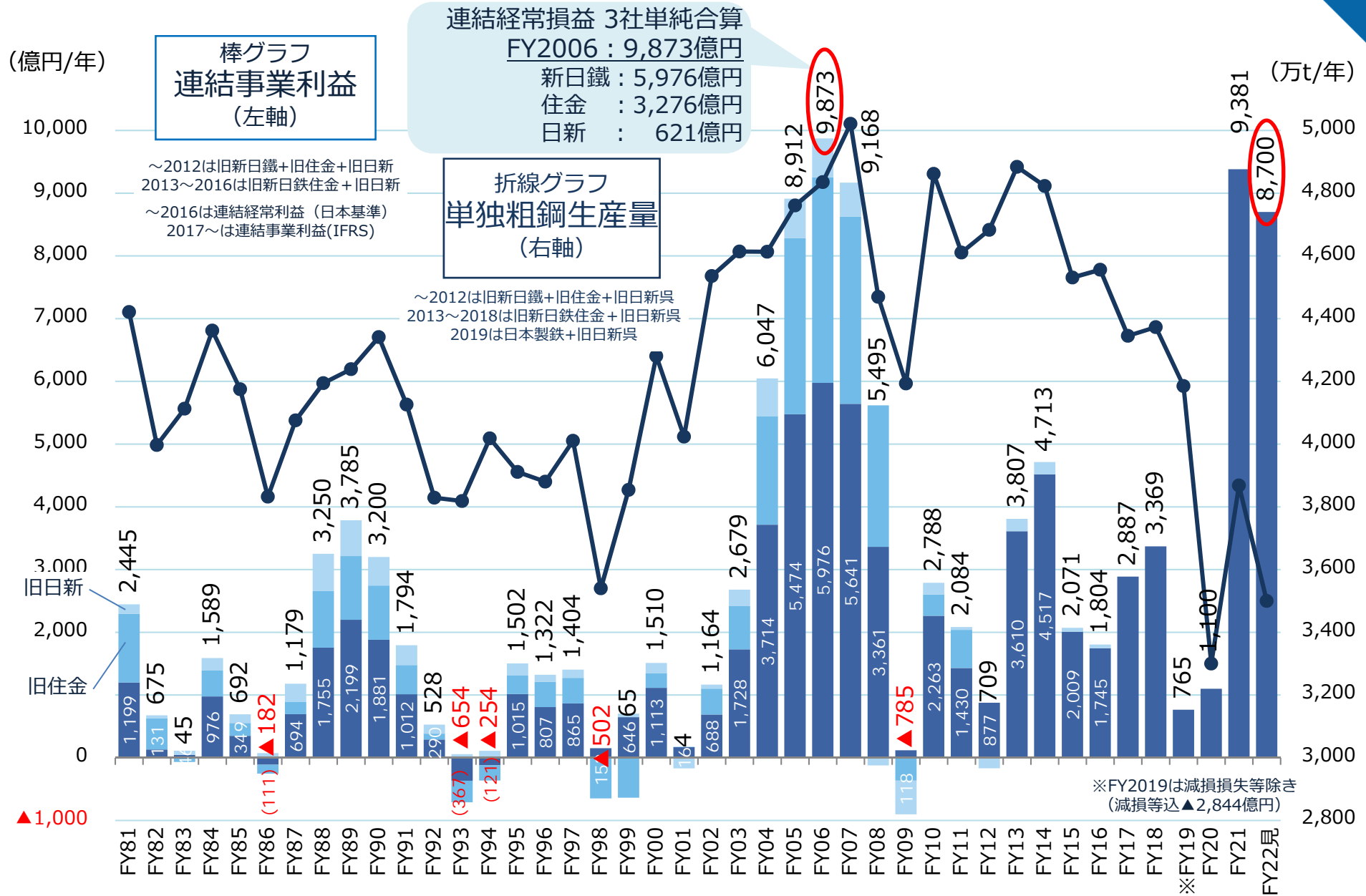
連結経常利益 3社単純合算  
 FY2006下 : 5,405億円  
 新日鐵 : 3,287億円  
 住金 : 1,716億円  
 日新 : 402億円

連結事業利益 過去最高益  
 FY2022上 : 5,417億円





# 1-2-3. 連結事業利益推移 (年度)



# 1-2-4. 当期利益推移 (四半期)

(億円/Q)

当期純利益(四半期) 3社単純合算

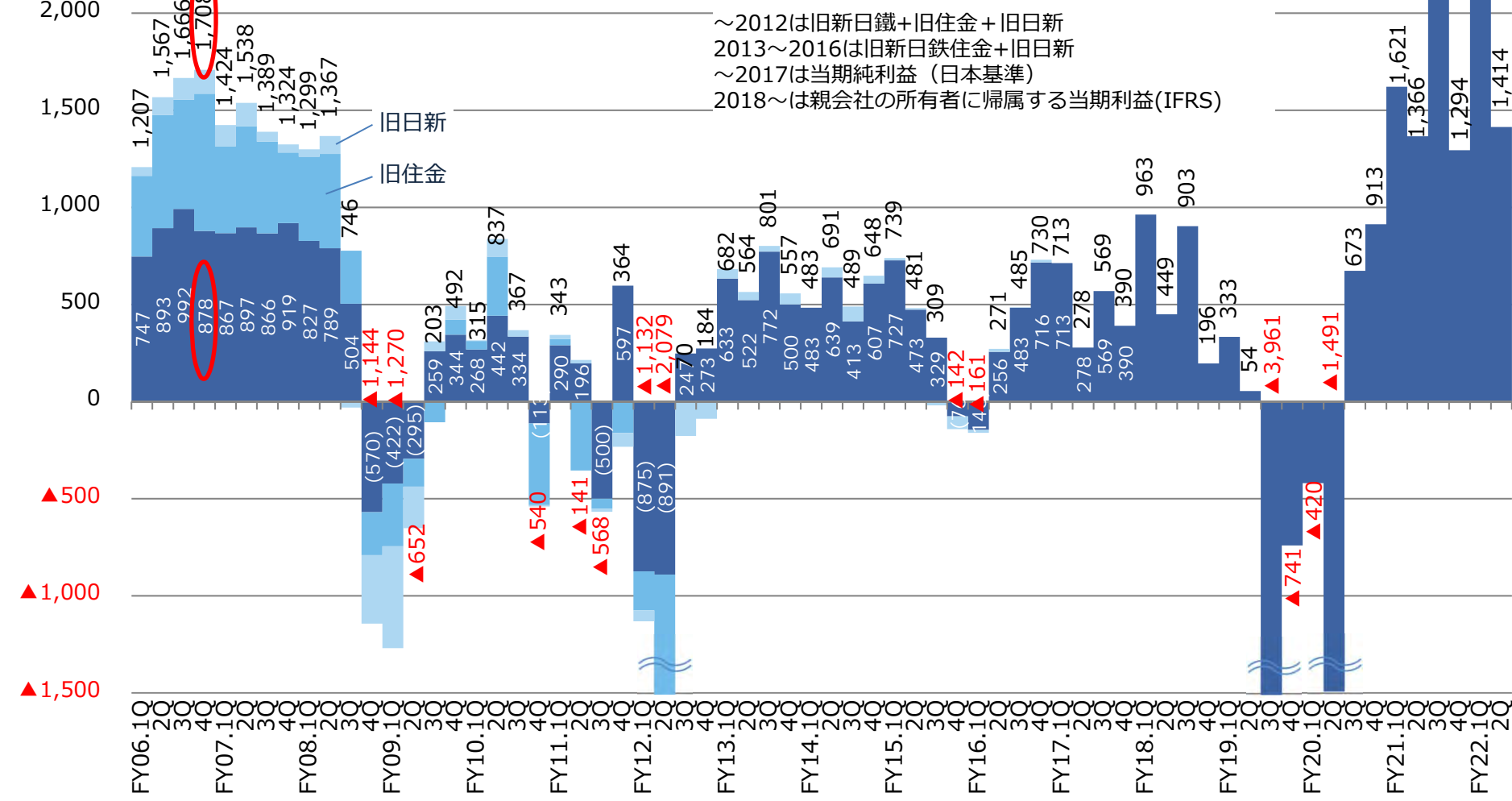
FY2006.4Q : 1,708億円

新日鐵 : 878億円

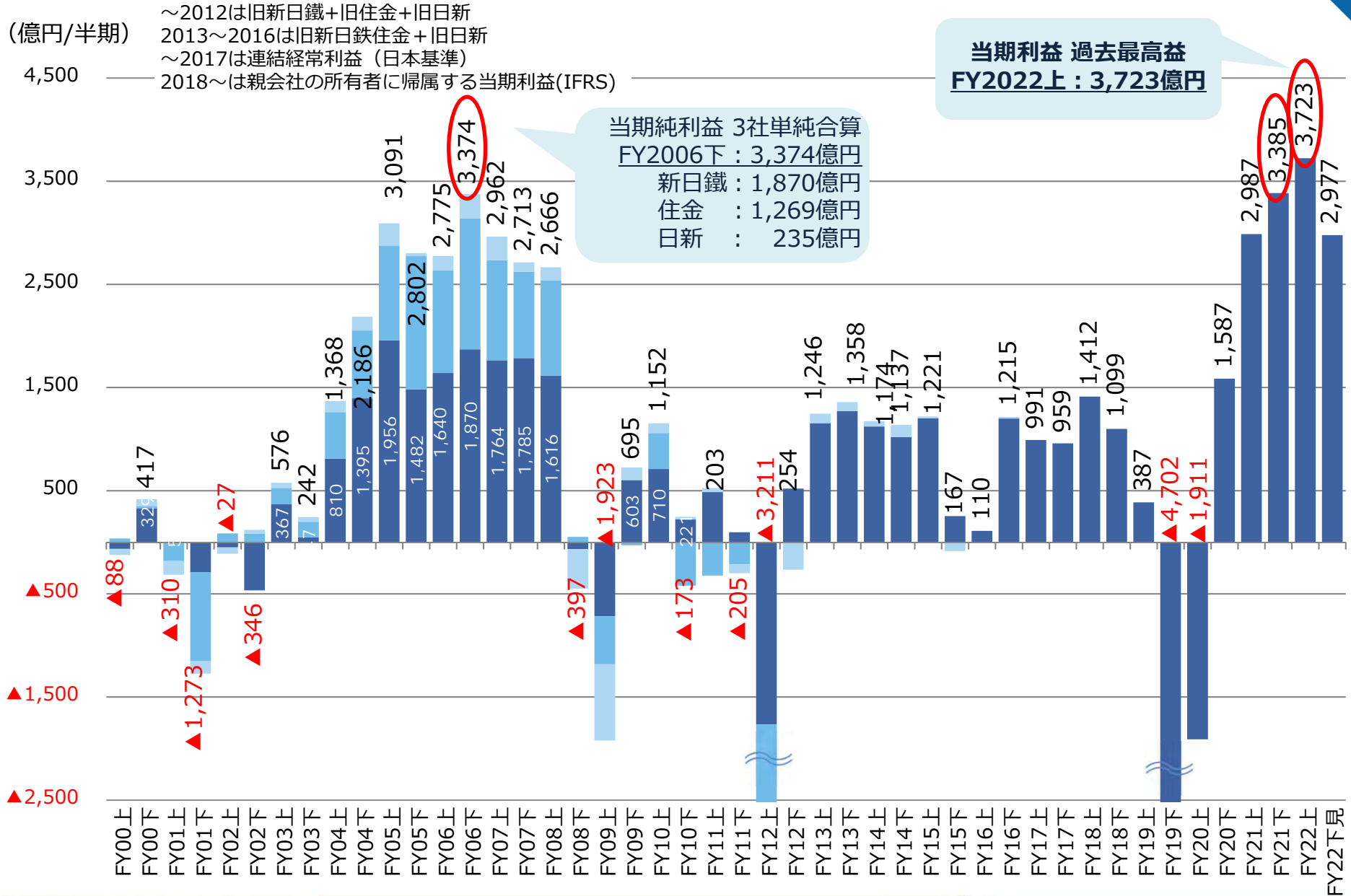
住金 : 707億円

日新 : 112億円

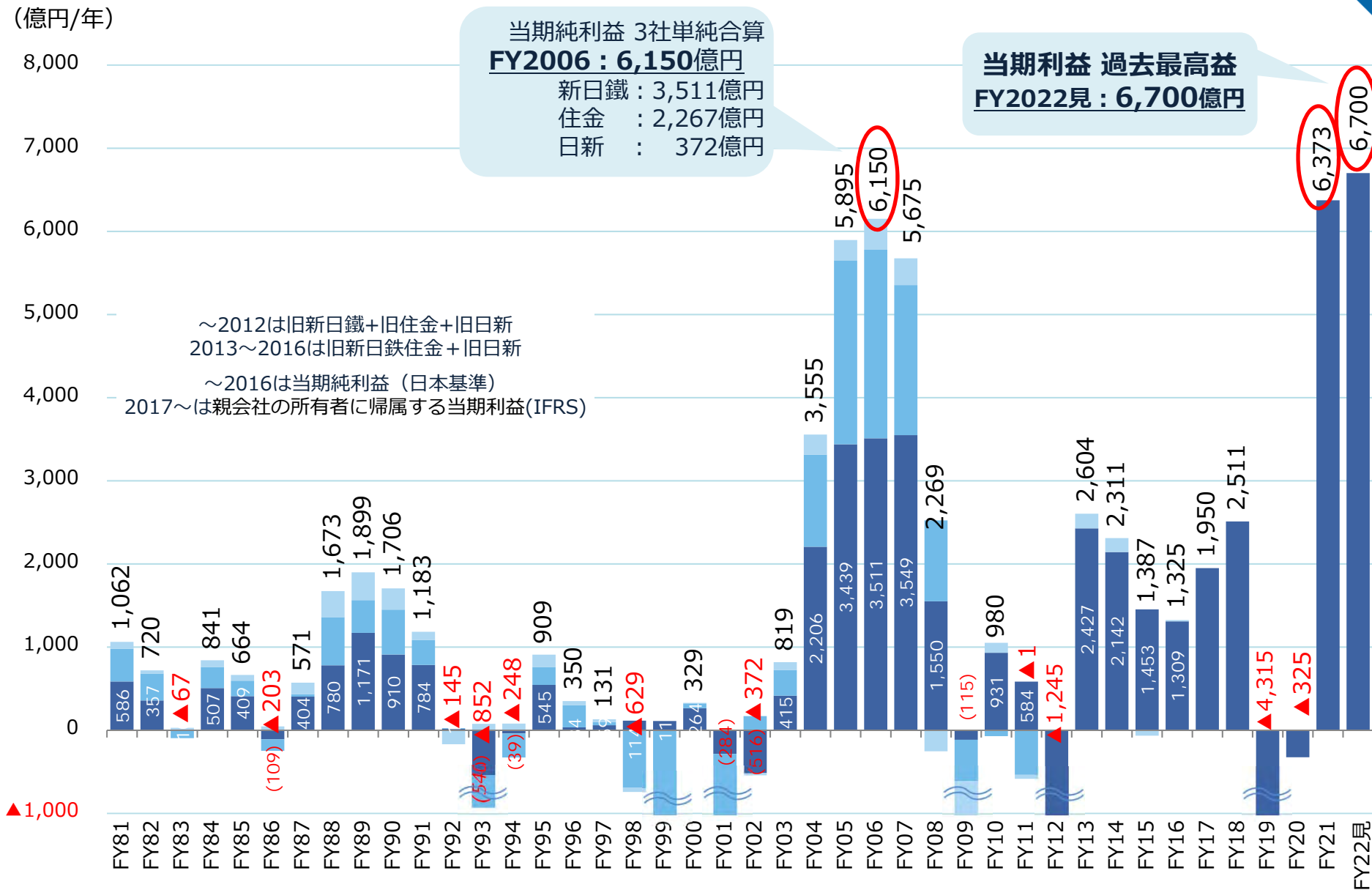
**当期利益 過去最高益**  
**FY2022.1Q : 2,309億円**



# 1-2-4. 当期利益推移 (半期)



# 1-2-4. 当期利益推移 (年度)



# 1 - 3. CF・財務体質（年度）

今回見通し数値は全て11/1時点 概算

		FY13 (日本基準)	FY14 (日本基準)	FT15 (日本基準)	FY16 (日本基準)	FY17 (日本基準)	FY17 (IFRS)	FY18 (IFRS)	FY19 (IFRS)	FY20 (IFRS)	FY21 (IFRS)	FY22 見通し (IFRS)
営業CF	(億円)	5,120	6,605	5,629	4,842	4,855	4,855	4,473	4,243	3,181	6,156	
投資CF	(億円)	▲3,641	▲3,632	▲3,222	▲4,937	▲4,332	▲4,332	▲4,768	▲5,556	▲4,440	▲5,189	
資産圧縮	(億円)	2,300	1,500	800	1,500	700	700	1,000	2,800	1,400	1,400	800
FCF	(億円)	3,779	4,473	3,207	1,405	1,223	1,223	705	1,487	141	2,367	
設備投資額 *1	(億円)	2,570	3,043	3,046	3,510	4,119		4,408	4,813	4,744	4,074	4,500
減価償却費	(億円)	3,318	3,200	3,082	3,047	3,407	3,665	4,086	4,173	2,908	3,306	3,500
連結総資産	(億円)	70,823	71,579	64,250	72,619	75,924	77,561	80,495	74,450	75,739	87,523	
有利子負債	(億円)	22,963	19,765	20,082	21,048	20,689	21,577	23,692	24,887	25,592	26,533	
自己資本	(億円)	26,836	29,786	27,738	29,482	31,454	31,369	32,307	26,416	27,599	34,667	
D/E *2		0.86	0.68	0.64	0.63		0.61	0.66	0.74	0.70	0.59	
自己資本比率 (%)		37.9	41.6	43.2	40.6	41.4	40.4	40.1	35.5	36.4	39.6	
D/EBITDA (倍)		3.6	3.0	4.2	5.0	3.1	3.3	3.2	5.3	6.4	2.1	

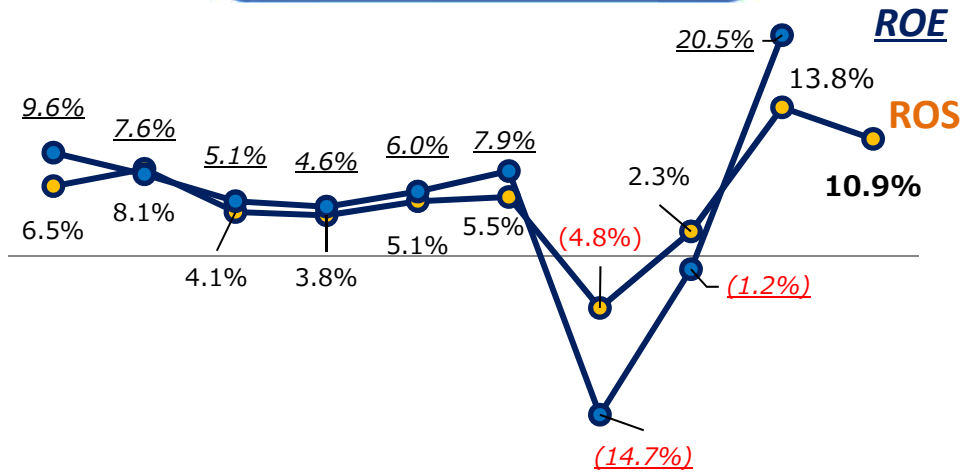
出典：当社推定

\*1 設備投資額は工事ベース、FY18以降は会計処理制度変更後

\*2 劣後D/E・劣後債資本性調整後

# 1-4. 主要財務指標 (年度)

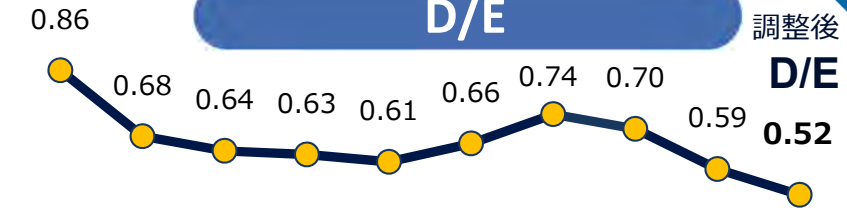
## ROS & ROE



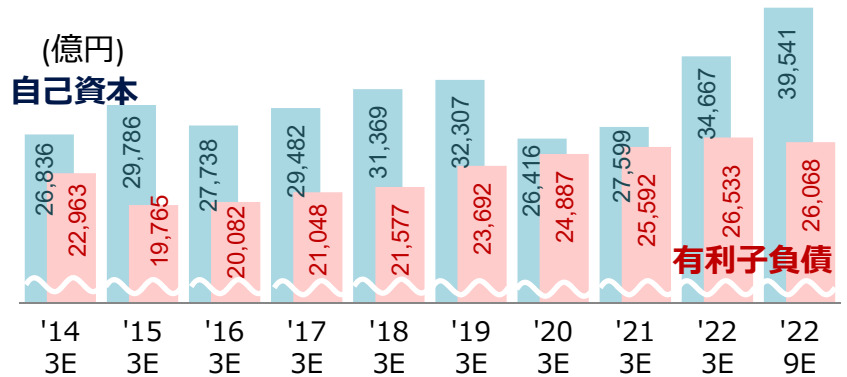
FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21 FY22見

見通し数値は全て11/1時点 概算 14

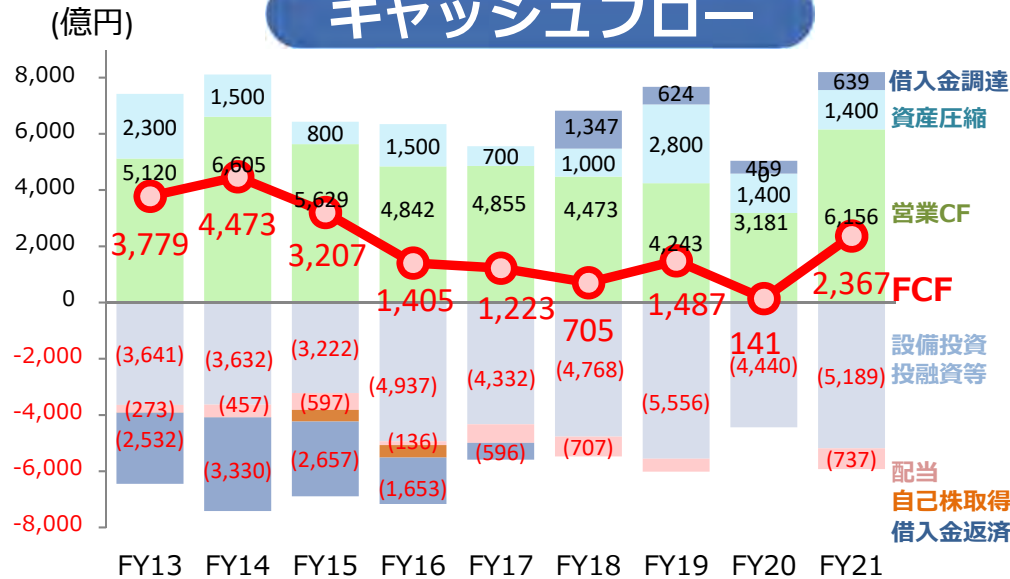
## D/E



(億円)  
自己資本



## キャッシュフロー

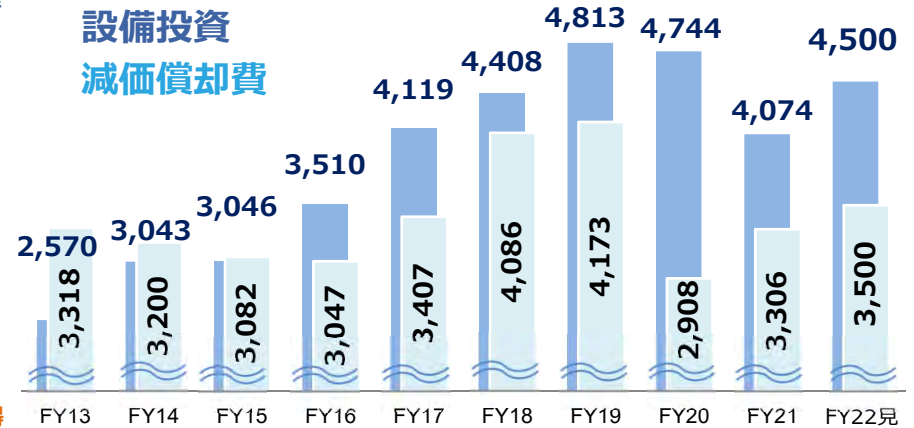


FY13 FY14 FY15 FY16 FY17 FY18 FY19 FY20 FY21

## 設備投資 減価償却費

(億円)

設備投資額は工事ベース、FY18以降は会計処理制度変更後



FY20償却費 定額法化影響▽700億円  
減損影響▽600億円

# 1-5. 株価関連 (年度)

見通し数値は全て11/1時点 概算

15

	*1 FY13 (日本基準)	*1 FY14 (日本基準)	FT15 (日本基準)	FY16 (日本基準)	FY17 (日本基準)	FY17 (IFRS)	FY18 (IFRS)	FY19 (IFRS)	FY20 (IFRS)	FY21 (IFRS)	FY22 見通し (IFRS)
期末株価 (円/株)	282.0	302.5	2,162	2,565	2,337	2,337	1,954	925	1,887	2,171	
EPS *2 (基本的 1株当たり当期利益) (円/株)	26.7	23.5	159	148	221	205	282	▲469	▲35	692	728
PER *3 (株価収益率) (倍)	10.6	12.9	13.6	17.3	10.6	11.4	6.9	-2.0	-53.6	3.1	
BPS *4 (1株当たり純資産) (円/株)	294.1	326.3	3,074	3,340	3,564	3,554	3,510	2,869	2,998	3,765	
PBR *5 (株価純資産倍率) (倍)	1.0	0.9	0.7	0.8	0.7	0.7	0.6	0.3	0.6	0.6	
年間配当 (円/株)	5.0	5.5	45	45	70	70	80	10	10	160	
配当性向 (%)	19%	23%	28%	30%	32%	34%	28%	-	-	23%	
配当利回り*6 (%)	1.8%	1.8%	2.1%	1.8%	3.0%	3.0%	4.1%	1.1%	0.5%	7.4%	

\*1 株式併合前(2015年10月1日に株式併合:10→1株) \*2 日本基準: 1株当たり当期純利益、親会社の所有者に帰属する当期利益÷期中平均株式数

\*3 各年度末時点株価(期末株価)÷EPS \*4 各年度末時点の純資産(親会社の所有者に帰属する持分合計)÷期中平均株式数 \*5 期末株価 ÷ BPS \*6 期末株価 ÷ (中間+期末配当)

# 1-6-1. 鉄グループ会社※損益（年度）

※鉄グループ会社のうち、主要な会社法上の大会社の開示損益

(億円/年)		<損益前提>	FY13	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21
二次加工	日鉄鋼板 *1	<連結経常損益>	31	11	20	35	25	23	14	26	116
	日鉄日新製鋼建材	<単独経常損益>	-	-	1	3	13	19			
	日鉄建材 *1	<単独経常損益>	30	12	21	34	35	52	55	54	32
	日鉄鋼管 *1	<単独経常損益>	34	55	38	54	62	61	39	31	61
	日鉄溶接工業	<単独経常損益>	8	11	7	8	2	4	7	8	10
	日鉄SGワイヤ	<単独経常損益>	12	14	12	19	19	16	4	2	11
	日鉄ドラム	<単独経常損益>	17	17	16	20	20	20	15	19	28
	ジノスター	<連結経常損益>	3	▲3	11	28	34	35	14	18	22
	(上記計)		(136)	(119)	(127)	(200)	(210)	(228)	(146)	(158)	(280)
ステンス・電炉	日鉄ステンス *1	<単独経常損益>	72	134	52	131	215	148	56	▲21	434
	大阪製鐵 *1	<連結経常損益>	52	91	83	59	67	69	67	13	40
	山陽特殊製鋼	<連結経常損益>				2018年度より子会社化		94	▲15	▲48	217
		<持分法投資損益>	5	9	12	12	10				
	ウチ OVAKO	<連結経常損益>							▲9	▲24	134
(上記計)		(128)	(235)	(146)	(203)	(293)	(312)	(108)	(▲55)	(690)	
機能系	日鉄物産	<持分法投資損益>	23	55	52	53	50	77	52	56	84
	日鉄テクスインジ	<連結経常損益>	48	126	175	180	176	199	181	142	128
	日鉄物流	<連結経常損益>	52	51	37	39	40	48	38	55	63
	黒崎播磨	<連結経常損益>				2018年度より子会社化		113	98	64	87
		<持分法投資損益>	10	8	17	21	25				
(上記計)		(133)	(240)	(281)	(292)	(291)	(437)	(368)	(316)	(362)	
(上記総計)			(397)	(594)	(554)	(695)	(795)	(977)	(622)	(418)	(1,332)

\*1 在庫評価差含む



# 1 - 6 - 2. 主要な鉄グループ会社の概要



分野	社名	事業内容	主要顧客分野
二次加工	日鉄鋼板	亜鉛鉄板、着色亜鉛鉄板、表面処理鋼板、 建築材料 等	建築
	日鉄建材	建築建材、土木建材、意匠鋼板、防護柵、 フェンス、仮設足場、鋼管柱、防災商品 等	土木・建築
	日鉄鋼管	二輪車・四輪車・土木・建築用炭素鋼鋼管、 自動車・装飾用ステンレス鋼管 等	自動車・土木・建築
	日鉄めっき鋼管	自動車用鋼管、建材用角形鋼管等	自動車、建築
	日鉄溶接工業	溶接材料、溶接機器	自動車、船舶、建築
	日鉄SGワイヤ	線材加工製品	自動車、家電、土木
	日鉄ドラム	ドラム缶	
	ジオスター	土木コンクリート製品・金属製品	土木
ステンレス・電炉	日鉄ステンレス	ステンレス薄板・厚板・棒線	家電、鉄道車両、建材、自動車、 産業機械
	大阪製鐵	形鋼・棒鋼等	建築、土木、造船、産業機械
	山陽特殊製鋼	特殊鋼棒線・鋼管、素形材、金属粉末等	自動車、鉄道車両、建設機械、 エレクトロニクス
機能系	日鉄テックスエンジ	鉄鋼生産設備等の機械・電気計装・システム・建設に 関するエンジニアリングおよび整備、作業	
	日鉄物流	内航海運、工場内運搬・作業請負、港湾運送、倉 庫業、貨物自動車運送、通関	
	黒崎播磨	耐火物の製造販売、築炉工事	
	日鉄物産	鉄鋼、産機・インフラ、繊維、食料 等	



## 参考資料

1. 主要諸元・財務指標
2. 事業環境指標
3. 市況データ等
4. 諸施策進捗状況

## 2-1-1. 鋼材消費（四半期）

見通し数値は全て11/1時点 概算

19

												FY22 見通し
	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	FY21	1Q	2Q	上期	下期	
全国粗鋼 (万t)	2,435	2,407	4,842	2,420	2,301	4,721	9,564	2,298	2,182	4,480		
国内鋼材消費 (万t)	1,376	1,333	2,709	1,433	1,376	2,809	5,518	1,341	1,393	2,733	2,780	5,510
製造業比率 (%)	62	61	62	63	63	63	62	62	62	62	64	63
普通鋼鋼材 (万t)	1,092	1,058	2,149	1,121	1,101	2,223	4,372	1,058	1,108	2,165	2,200	4,360
建設 (万t)	501	501	1,002	510	498	1,008	2,010	486	504	990	980	1,970
製造業 (万t)	591	556	1,147	611	603	1,214	2,361	571	604	1,175	1,220	2,390
造船 (万t)	69	64	133	75	74	149	282	74	66	140	140	280
自動車 (万t)	230	209	438	234	224	458	897	209	238	447	475	920
産業機械 (万t)	121	119	241	129	131	260	501	123	129	252	260	510
電気機械 (万t)	71	66	138	71	73	144	281	71	73	144	145	290
特殊鋼鋼材 (万t)	284	276	560	312	275	587	1,147	283	285	568	580	1,150

出典：当社推定

## 2-1-2. 鋼材消費（年度）

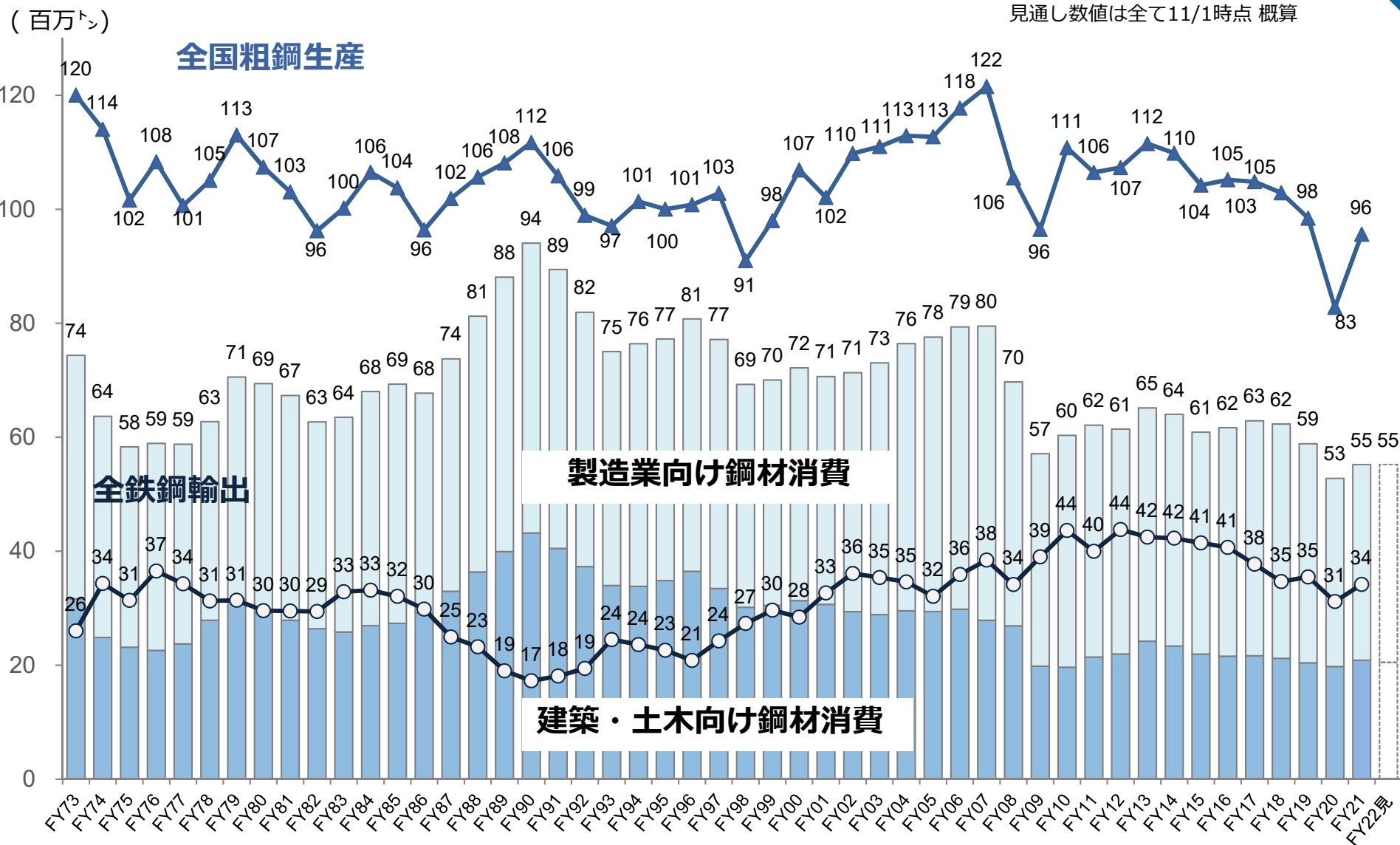
見通し数値は全て11/1時点 概算

20

		FY13	FY14	FT15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22 見通し
全国粗鋼	(万t)	11,152	10,984	10,423	10,517	10,484	10,289	9,843	8,278	9,564	
国内鋼材消費	(万t)	6,514	6,403	6,088	6,167	6,289	6,232	5,914	5,277	5,518	5,510
製造業比率	(万t)	63	63	64	64	64	65	65	63	62	63
普通鋼鋼材	(万t)	5,182	5,092	4,843	4,900	4,974	4,928	4,669	4,190	4,372	4,360
建設	(万t)	2,301	2,236	2,115	2,157	2,167	2,119	2,007	1,870	2,010	1,970
製造業	(万t)	2,880	2,856	2,728	2,743	2,808	2,809	2,662	2,319	2,361	2,390
造船	(万t)	416	434	432	433	408	400	406	325	282	280
自動車	(万t)	1,148	1,114	1,076	1,095	1,131	1,142	1,069	917	897	920
産業機械	(万t)	505	518	461	458	504	517	468	426	501	510
電気機械	(万t)	311	307	292	297	310	307	295	276	281	290
特殊鋼鋼材	(万t)	1,332	1,311	1,245	1,267	1,314	1,304	1,245	1,087	1,147	1,150

出典：当社推定

# 2-1-3. 国内鋼材消費推移 (年度)



出典：各種統計資料・当社推定

## 2-2-1. 活動水準（四半期）

見通し数値は全て11/1時点 概算

22

		FY21			FY22			FY21	FY22			FY22 見通し	
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期		1Q	2Q	上期		下期
住宅着工	(万戸)	22	22	45	22	20	42	87	22	22	44	41	85
非住宅着工	(万㎡)	1,276	1,091	2,367	1,381	1,058	2,439	4,806	1,357	1,254	2,611	2,276	4,887
公共事業	(10億円)	2,584	2,964	5,548	2,309	3,509	5,818	11,365	2,274	3,100	5,374	5,800	11,174
完成車生産	(万台)	196	164	360	198	196	394	755	167	204	371	409	780
完成車輸出	(万台)	98	83	181	97	90	187	368	83	102	185	195	380
海外生産	(万台)	393	350	743	426	424	850	1,593	377	436	812		
大中型ショハル	(千台)	23	21	44	24	25	49	93	20	25	45	51	97
金属工作	(千t)	79	77	157	81	96	177	334	88	92	180	188	369
新造船起工	(万グロ スト)	241	191	432	236	215	451	883	240	182	422	400	822

出典：当社推定

## 2-2-2. 活動水準 (年度)

見通し数値は全て11/1時点 概算

23

	FY13	FY14	FT15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22 見通し
住宅着工 (万戸)	99	88	92	97	95	95	88	81	87	85
非住宅着工 (万㎡)	5,627	5,261	4,999	5,133	5,331	5,102	4,798	4,492	4,806	4,887
公共事業 (10億円)	10,305	10,864	10,142	10,790	10,508	10,246	11,346	12,037	11,365	11,174
完成車生産 (万台)	991	959	919	936	968	974	949	797	755	780
完成車輸出 (万台)	463	449	458	464	479	486	474	368	368	380
海外生産 (万台)	1,634	1,708	1,784	1,890	1,929	1,925	1,730	1,551	1,593	
大中型ショール (千台)	80	78	63	66	79	86	78	74	93	97
金属工作 (千t)	344	481	452	366	458	438	341	249	334	369
新造船起工 (万グロスト)	1,222	1,258	1,283	1,251	1,206	1,146	1,249	950	883	822

出典：当社推定

## 2-3. 世界経済成長率推移 <2022年10月11日IMF改定値>

24

[ ] 内の数値=過去のCY22見通し公表値

	CY 13	CY 14	CY 15	CY 16	CY 17	CY 18	CY 19	CY 20	CY 21	CY22見通し				22. 10月 時点	対 前回	対 前年	CY 23 見通し
										21. 10月 時点	22. 1月 時点	22. 4月 時点	22. 7月 時点				
<b>世界合計</b>	3.5	3.6	3.5	3.4	3.8	3.6	2.8	-3.1	6.0	[4.9]	[4.4]	[3.6]	[3.2]	3.2	+0.0	▼2.8	2.7
<b>先進諸国</b>	1.4	2.1	2.3	1.7	2.4	2.2	1.7	-4.5	5.2	[4.5]	[3.9]	[3.3]	[2.5]	2.4	▼0.1	▼2.8	1.1
<b>米国</b>	1.8	2.5	2.9	1.6	2.2	2.9	2.2	-3.4	5.7	[5.2]	[4.0]	[3.7]	[2.3]	1.6	▼0.7	▼4.1	1.0
<b>欧州</b>	-0.3	1.4	2.1	1.9	2.4	1.9	1.3	-6.3	5.2	[4.3]	[3.9]	[2.8]	[2.6]	3.1	+0.5	▼2.1	0.5
<b>日本</b>	2.0	0.4	1.2	0.6	1.9	0.3	0.7	-4.6	1.7	[3.2]	[3.3]	[2.4]	[1.7]	1.7	-	+0.0	1.6
<b>新興諸国</b>	5.1	4.7	4.3	4.6	4.7	4.5	3.7	-2.1	6.6	[5.1]	[4.8]	[3.8]	[3.6]	3.7	+0.1	▼2.9	3.7
<b>中国</b>	7.8	7.3	6.9	6.7	6.9	6.6	6.1	2.3	8.1	[5.6]	[4.8]	[4.4]	[3.3]	3.2	▼0.1	▼4.9	4.4
<b>ASEAN-5 *1</b>	5.0	4.7	5.0	5.1	5.5	5.4	4.9	-3.4	3.4	[5.8]	[5.6]	[5.3]	[5.3]	5.3	-	+1.9	4.9
<b>インド</b>	6.4	7.4	8.0	8.2	6.7	6.8	4.2	-7.3	8.7	[8.5]	[9.0]	[8.2]	[7.4]	6.8	▼0.6	▼1.9	6.1
<b>ロシア</b>	1.8	0.7	-2.3	0.3	1.5	2.3	1.3	-3.0	4.7	[2.9]	[2.8]	[-8.5]	[-6.0]	-3.4	+2.6	▼8.1	-2.3
<b>ブラジル</b>	3.0	0.5	-3.6	-3.3	1.1	1.3	1.1	-4.1	4.6	[1.5]	[0.3]	[0.8]	[1.7]	2.8	+1.1	▼1.8	1.0

出典：IMF \*1 インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム



## 2-4. 世界鋼材需要 <World Steel Association 2022.10.19想定>

(百万t/年)	CY 13	CY 14	CY 15	CY 16	CY 17	CY 18	CY 19	CY 20	CY 21	CY22見通し					CY 23 見通し	対前年	
										22. 4月 時点	22. 10月 時点	対 前回 増減	対前年			増減	増減 率
													増減	増減 率			
<b>世界合計</b>	<b>1,546</b>	<b>1,551</b>	<b>1,506</b>	<b>1,519</b>	<b>1,637</b>	<b>1,712</b>	<b>1,774</b>	<b>1,775</b>	<b>1,839</b>	<b>[1,840]</b>	<b>1,797</b>	<b>▼43</b>	<b>▼42</b>	<b>▼2%</b>	<b>1,815</b>	<b>+18</b>	<b>+1%</b>
米墨加	131	146	134	131	138	140	135	114	137	[141]	138	▼3	+1	+1%	141	+3	+2%
EU28 <sup>*1</sup>	179	149	154	158	164	168	159	141	165	[162]	159	▼3	▼6	▼4%	157	▼2	▼1%
日本	65	68	63	62	64	65	63	53	57	[58]	58	▼1	+0	+0%	59	+1	+2%
韓国	52	56	56	57	56	54	53	49	56	[56]	55	▼1	▼1	▼3%	55	~	~
中国	741	711	672	681	774	836	912	995	952	[952]	914	▼38	▼38	▼4%	914	~	~
インド	74	76	80	84	89	97	103	89	106	[114]	113	▼1	+7	+6%	120	+8	+7%
ASEAN <sup>*2</sup> -5	59	62	67	76	74	77	78	70	73	[76]	77	+1	+4	+6%	81	+5	+6%
ロシア	60	43	40	39	41	41	44	42	44	[35]	41	+6	▼3	▼6%	37	▼4	▼10%

\*1 EU27か国+イギリス \*2 インドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム

## 2-5. 世界粗鋼生産量

(百万 t)	CY 13	CY 14	CY 15	CY 16	CY 17	CY 18	CY 19	CY 20	CY 21 [A]	CY22							CY22 年率 [C] (B* 12/9)	差異 (A ↓ C)
										1-3	4-6	7			7-9	1-9 [B]		
												8	9	7-9				
<b>世界</b>	1,582	1,644	1,598	1,587	1,712	1,789	1,844	1,842	1,912	460	493	149	150	152	450	1,403	1,871	-42
[前年同期比]	(+4.0%)	(+3.9%)	(-3.0%)	[-0.7%]	[+7.9%]	[+4.5%]	[+3.1%]	[-0.1%]	[+3.8%]	[-5.8%]	[-4.4%]	[-7.0%]	[-3.6%]	[+3.8%]	[-2.4%]	[-4.2%]		
<b>日本</b>	111	111	105	105	105	104	99	84	96	23	23	7	7	7	22	68	90	-6
[前年同期比]	(+3.1%)	(+0.1%)	(-5.0%)	[-0.4%]	[-0.1%]	[-0.3%]	[-4.8%]	[-15.6%]	[+14.9%]	[-2.9%]	[-5.6%]	[-8.6%]	[-7.1%]	[-12.3%]	[-9.4%]	[-6.0%]		
<b>韓国</b>	66	72	70	69	71	72	71	67	70	17	17	6	6	5	17	51	67	-3
[前年同期比]	(-4.4%)	(+8.4%)	(-1.9%)	[-1.6%]	[+3.6%]	[+2.0%]	[-1.5%]	[-6.1%]	[+5.0%]	[-3.8%]	[-4.0%]	[+0.8%]	[-2.8%]	[-15.4%]	[-5.4%]	[-4.4%]		
<b>米国</b>	87	88	79	78	82	87	88	73	86	20	21	7	7	7	20	61	82	-4
<b>EU28</b>	166	169	166	162	169	168	157	139	160	38	39	12	10	11	33	110	147	-13
<b>ロシア</b>	69	71	71	70	71	72	72	72	77	19	18	6	6	6	18	55	73	-4
<b>ウクライナ</b>	34	34	33	31	34	35	33	31	21	4	1	0	0	0	1	6	7	-14
<b>ブラジル</b>	34	34	33	31	34	35	33	31	36	9	9	3	3	3	8	26	34	-2
<b>インド</b>	81	87	89	95	101	109	111	100	118	32	31	10	10	10	30	93	124	+6
<b>中国</b>	779	820	804	787	871	923	996	1,065	1,033	246	280	81	84	87	252	779	1,038	+5
[前年同期比]	(+8.7%)	(+5.2%)	(-2.3%)	[-2.1%]	[+10.7%]	[+6.0%]	[+7.9%]	[+6.9%]	[-3.0%]	[-8.7%]	[-4.0%]	[-6.4%]	[+0.5%]	[+17.9%]	[+3.3%]	[-3.4%]		

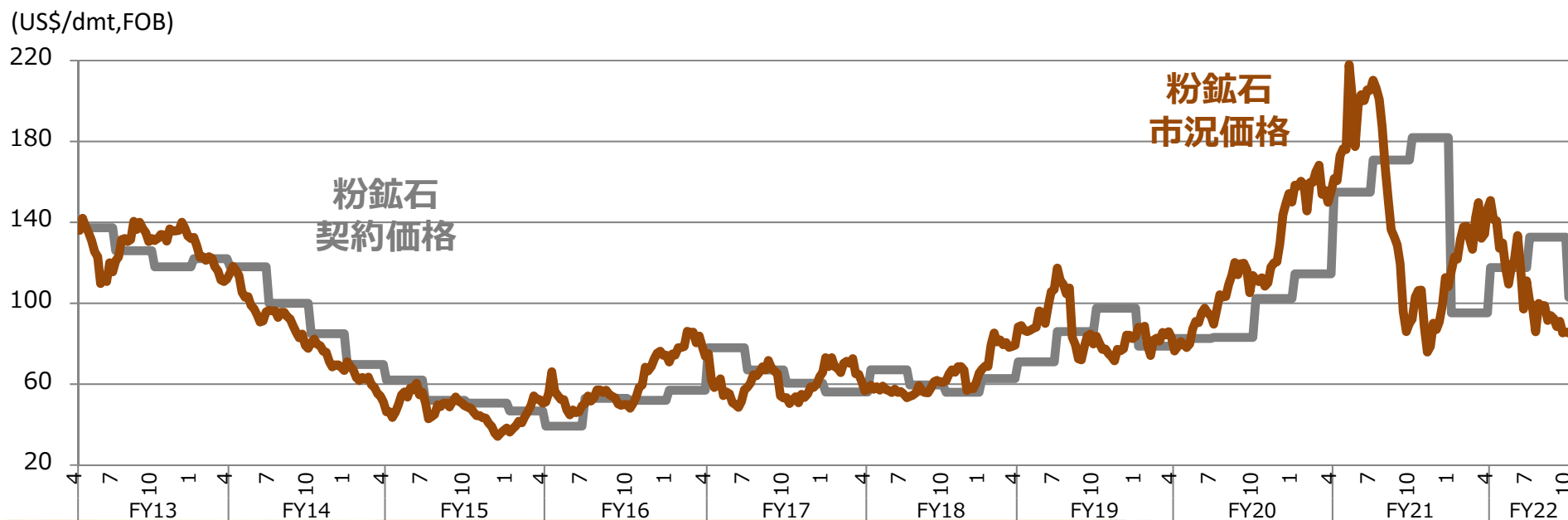
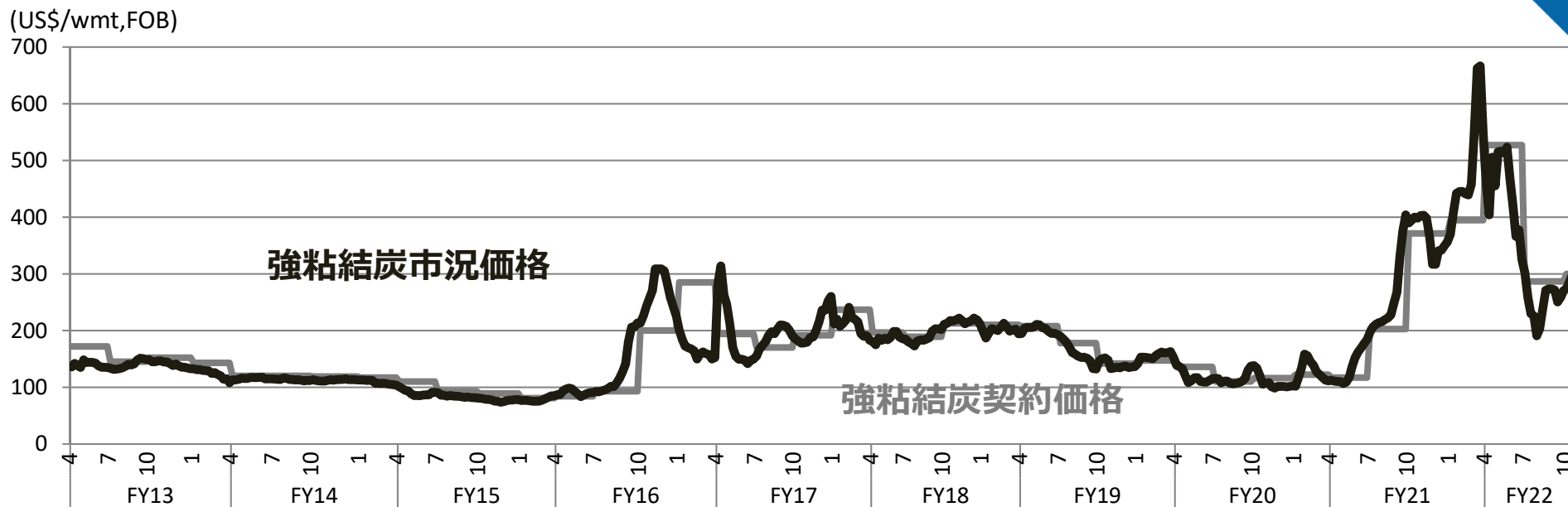
出典：World Steel Association \* 世界64力国の合計値



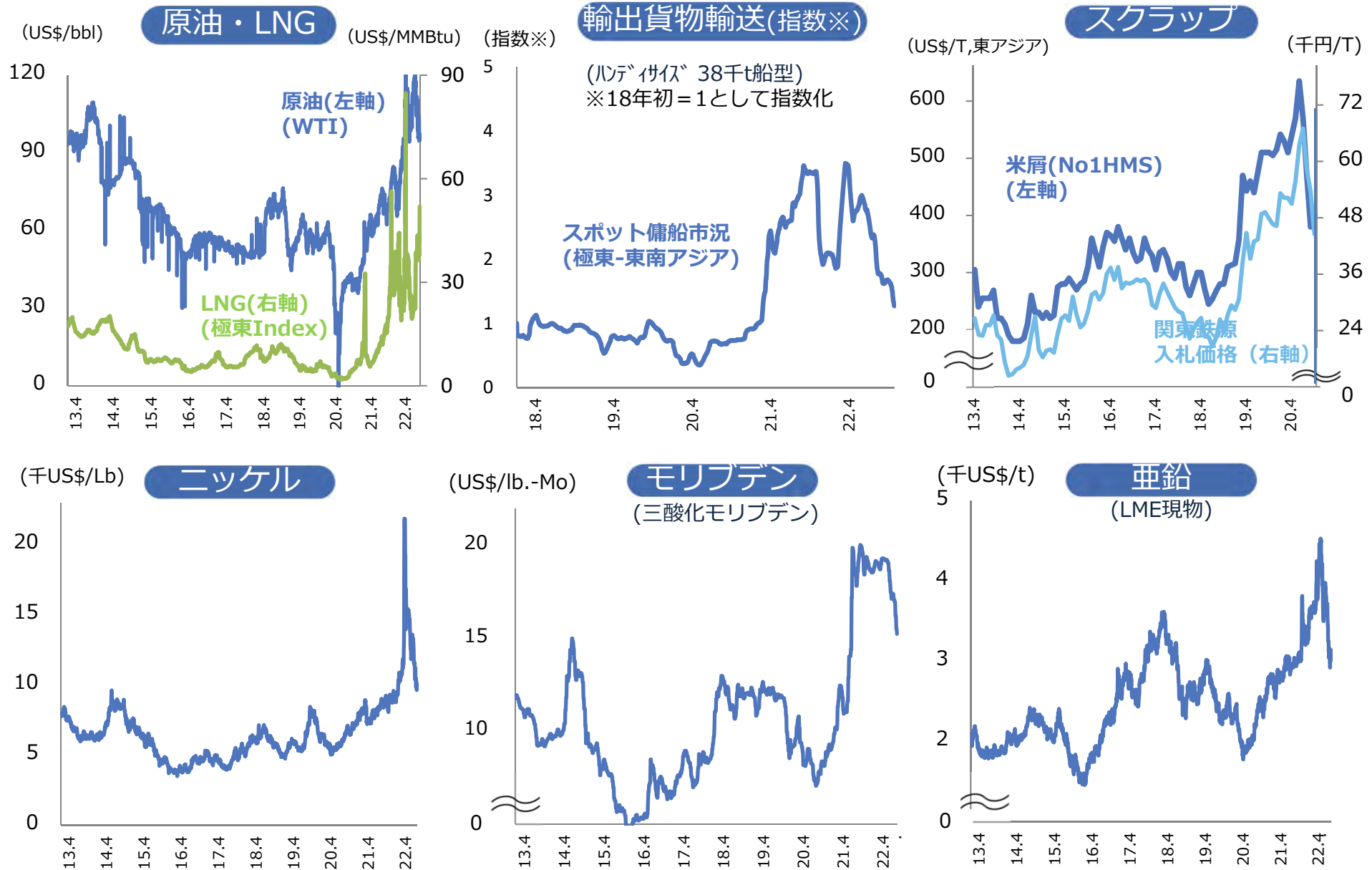
## 参考資料

1. 主要諸元・財務指標
2. 事業環境指標
3. 市況データ等
4. 諸施策進捗状況

# 3 - 1. 主原料国際市況

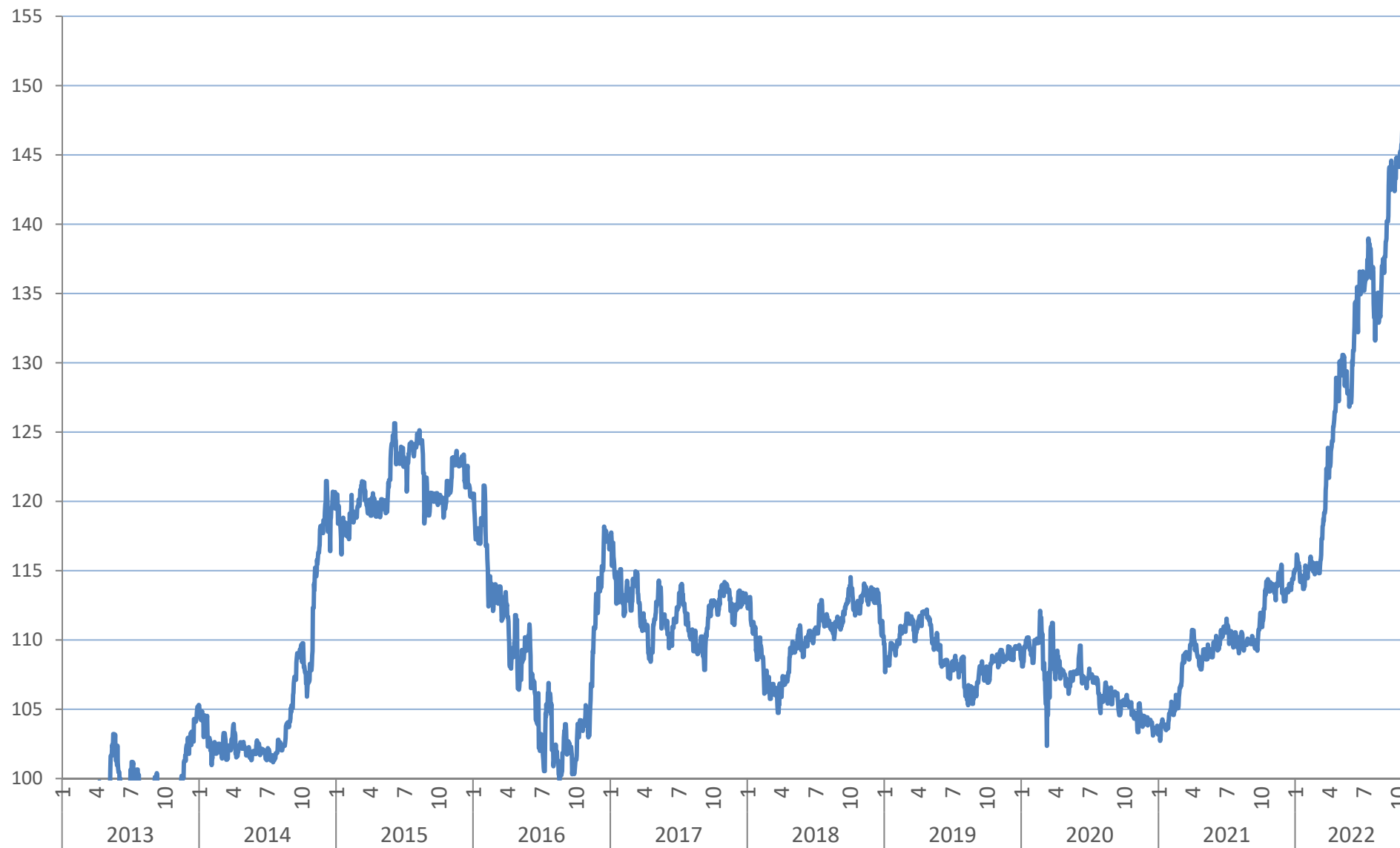


# 3-2. 市況品価格



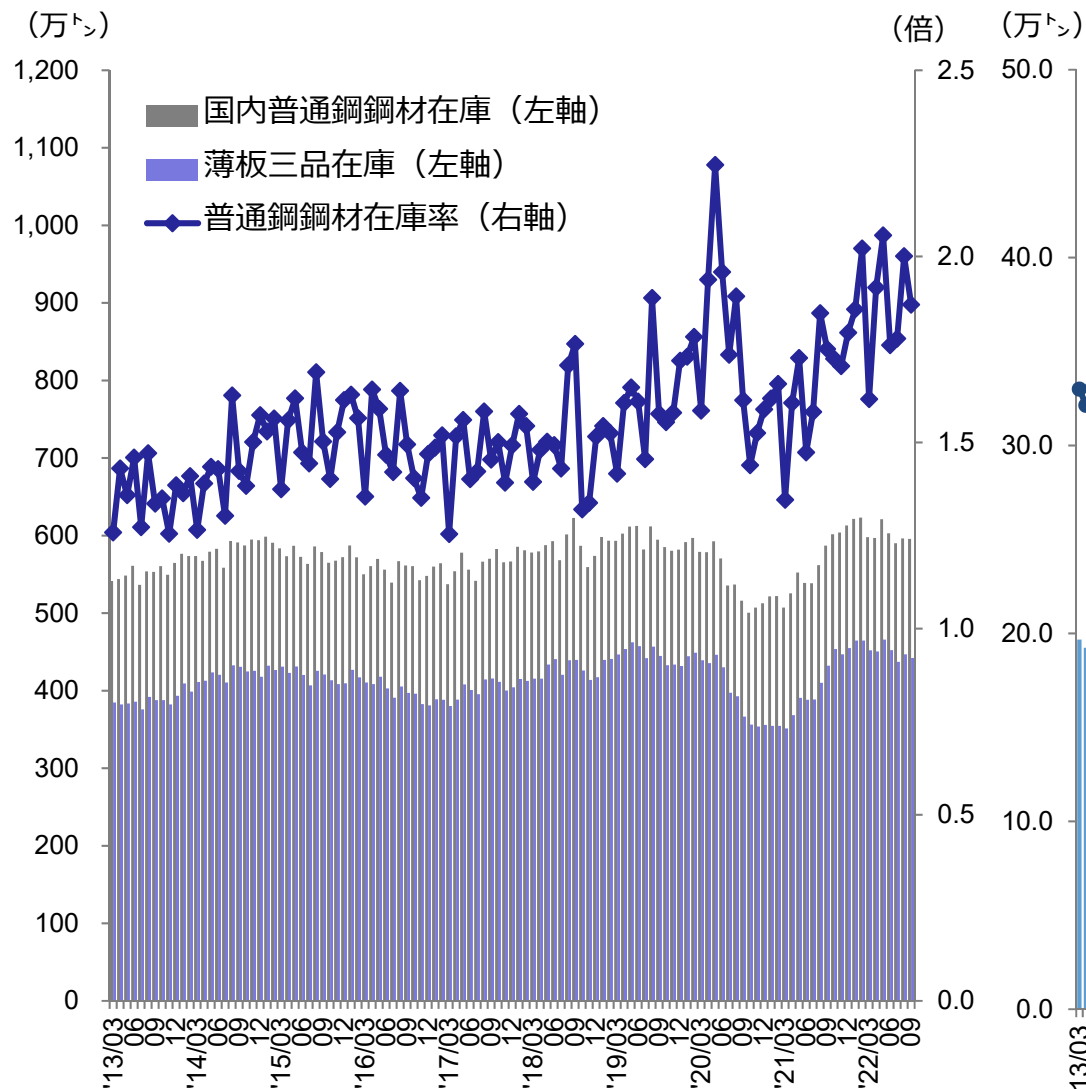
# 3-3. ドル円 為替推移

(JPY/USD)



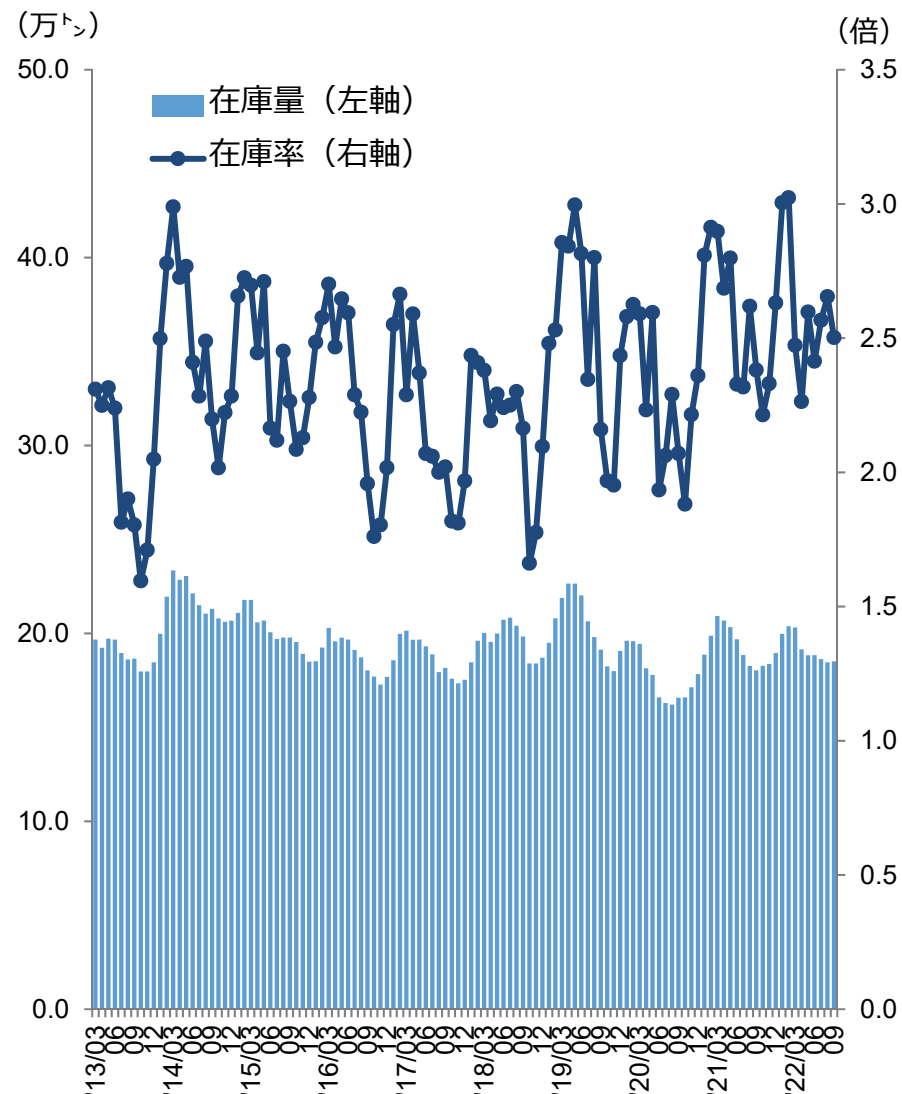
# 3-4. 国内鋼材在庫推移

## 普通鋼鋼材・薄板三品在庫



出典：日本鉄鋼連盟

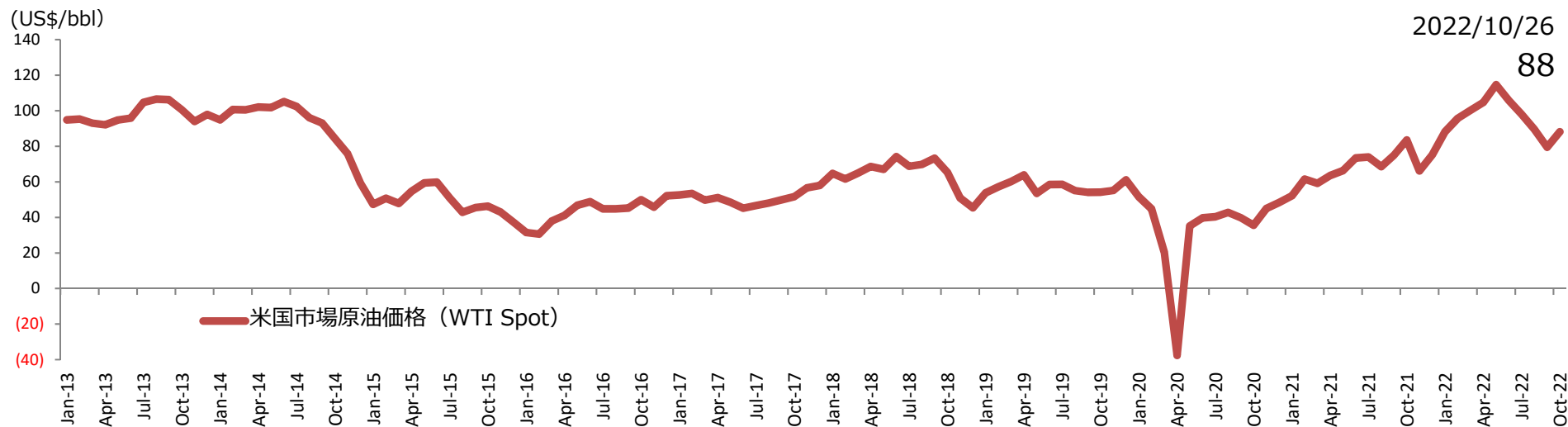
## ときわ会（H形鋼）在庫



# 3-5. エネルギー関連指標の推移

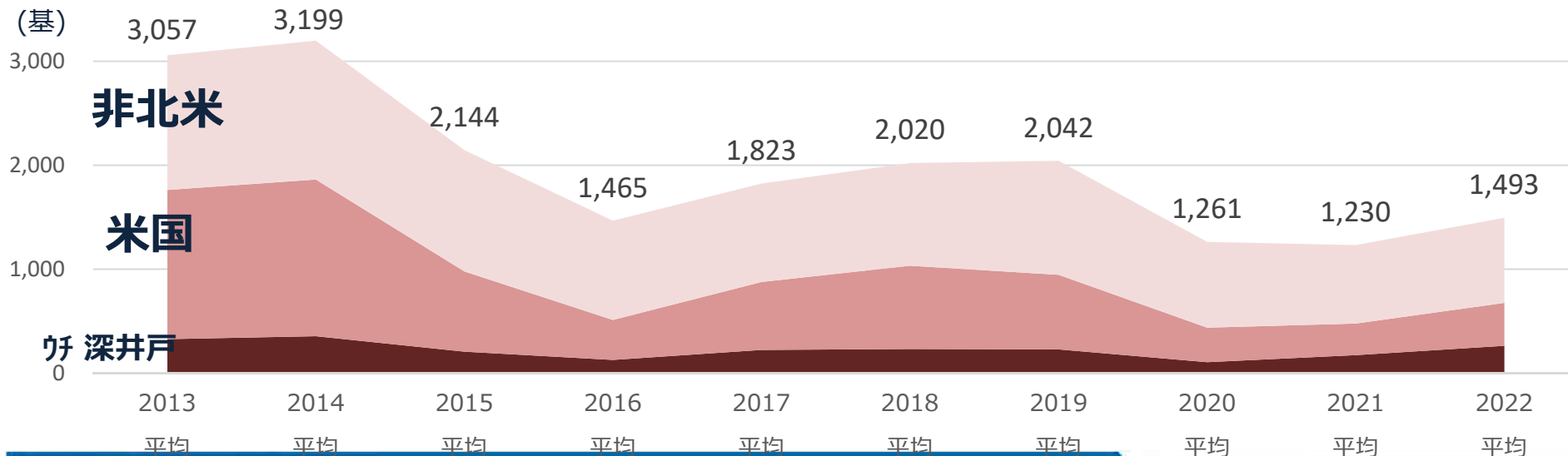
32

## 原油価格



## リグカウント

※非北米は米国、カナダ、中国、CISを除く







## 参考資料

1. 主要諸元・財務指標
2. 事業環境指標
3. 市況データ等
4. 諸施策進捗状況

「需要の伸びが確実に期待できる地域」「当社の技術力・商品力を生かせる分野」において、一貫製造拠点、下工程拠点の拡充するとともに、役目を終えた事業・シナジーの薄れた事業・収益の見込めない事業からの撤退により、**選択と集中をすすめて収益力を向上**

一貫製鉄拠点の獲得

- Essar Steel（インド一貫製鉄会社）の共同買収、AM/NS India設立<2019>
- G/GJ Steel（タイ電炉一貫熱延鋼板メーカー）買収<2022>

下工程拠点の獲得

- ThyssenKrupp Steel USAの買収、AM/NS Calvertの設立<2014>
- AM/NS Calvertの超ハイテン鋼板製造対策設備が稼働開始<2016>

下工程拠点の立上げ

- JCAPCPL（インド自動車用冷延鋼板製造拠点）稼働開始<2014>
- KNSS（インドネシア自動車用冷延・めっき鋼板製造拠点）稼働開始<2017>

既存拠点の強化

- ウジミナス クバトン鉄源工程休止、資本増強・債務リストラ<2016>
- NSGT（タイ亜鉛めっき鋼板製造拠点）とNS-SUS（タイ薄板製造拠点）の経営統合<2016>、STP（タイブリキ製造拠点）の子会社化<2020>・STPとNS-SUSとの経営統合<2022>

役目を終えた事業  
シナジーの薄れた事業  
からの撤退

- 2016FY WTC（米国電線管製造拠点）売却
- 2018FY 宝鶏住金石油鋼管有限公司（中国油井管熱処理拠点）売却  
STL（米国油井管熱処理拠点）売却  
Bahru Stainless（マレーシアステンレス鋼板製造拠点）売却
- 2019FY ZNW（中国特殊鋼冷延鋼板製造拠点）営業生産停止  
NAT（米国ステンレス鋼管製造拠点）売却
- 2020FY N-EGALV（マレーシア電気亜鉛めっき鋼板拠点）解散  
PATIN（中国ブリキ製造拠点）売却（2020）  
アセリノックス（スペインステンレス鋼板）株式売却  
VSB（ブラジル油井管製造拠点）売却
- 2021FY VAMUSA（米国油性管接手加工拠点）売却  
I/N Tek・Kote（米国自動車鋼板製造拠点）売却
- 2022FY PEXCO（米国油井管製造拠点）売却

## 原料権益 原料事業 これまでの取組み

35

- 豪州Bulga炭鉱における後継鉱区開発<2014開発着手、2016-18生産開始>
- 豪州Boggabri炭鉱の権益取得<2015>
- 豪州Integra炭鉱を売却<2015>
- 豪州Robe Riverの鉄鉱石積出港(Cape Lambert)拡張フェーズ2・West Angels鉱区の拡張を完工<2015>
- 豪州Robe Riverの新規鉱区開発を決定<2018>
- 豪州Moranbah North炭鉱に隣接するGrosvenor炭鉱権益を取得<2019>

## 鉄グループ会社 鉄グループ会社体質強化 これまでの取組み

### 新日鐵住金と 日新製鋼の統合に 伴う再編統合

- **日鉄ステン** 日新製鋼・新日鐵住金ステン・新日鐵住金のステン鋼板事業を統合し日鉄ステンを設立<2019>
- **日鉄ステン鋼管** 溶接ステン鋼管事業再編<2019>
- 物流・設備エンジニアリング・建材加工、薄板販売・ステン販売 等の分野で統合・再編

### 経営合理化、 事業環境変化対応 を目的とした 再編統合

- **大阪製鐵** 東京鋼鉄(株)をTOBにより子会社化<2016>、日本スチール(株)を合併<2021>
- **山陽特殊製鋼** 当社持分法適用関連会社→子会社化<2018>、新日鐵住金によるOVAKOの子会社化<2018>、OVAKO当社子会社から山陽特殊製鋼子会社化<2018>
- **日鉄鋼板** 東海カー(株)の子会社化<2019>
- **日鉄建材** 日鉄住金建材(株)と日鉄住金JTM(株)を統合<2016>、道路関連事業を神鋼建材工業と統合し日鉄神鋼建材(株)発足<2021>
- **日鉄SGW** 株式交換により当社完全子会社化<2015>
- **太陽カー** 太陽シャーリング(株)子会社化<2015>、太陽シャーリング(株)とカー(株)が経営統合し太陽カー(株)発足<2022>
- **日鉄テックエンジニア** 太平工業(株)と日鉄イレックス(株)を統合、日鉄テックエンジニアが発足<2013> 設備エンジニア・保全系会社9社を統合<2014>、株式交換により当社完全子会社化<2015>
- **日鉄スガ製品** スガ販売会社5社を統合し日鉄住金スガ製品(株)発足<2014>

### 設備の統廃合

- **日鉄ステン** 衣浦全ライン休止<~2021>、周南一部ライン休止<2021~>
- **大阪製鐵** 恩加島工場休止し堺工場に集約<製鋼工程：2016、圧延工程：2022>
- **王子製鐵** 廃業した中央圧延工業(株)から商権・設備を取得<2014>。埼玉圧延工場(旧中央工業圧延工業)休止<2015>
- **日鉄鋼板** 船橋製造所酸洗・冷延設備、西日本製造所(尼崎地区)酸洗・冷延設備休止<2014>、下妻地区を休止し鋼板加工拠点を市川地区に集約<2021>

# 諸施策進捗状況 設備・商品・事業の選択と集中 <国内>

## ◆国内最適生産体制への早期移行と競争力強化

凡例：今回新規施策

★ 予定 ★ 実行済み ★ 変更

案件	公表	～FY19	FY20	FY21	FY22～
和歌山 新2高炉スイッチ	18.3月	★19.2月中旬 切り替え(5炉→新2炉へ)			
北海製鉄 2高炉改修	18.11月	★ 20.11月 完工			
名古屋 3高炉改修	20.6月	★ 22.8月 再稼働			
コークス炉増設					
鹿島 2Eコークス炉	15.9月	★18.5月 稼働			
コークス炉リフレッシュ					
君津 5コークス炉	16.4月	★19.2月 稼働			
北海製鉄 5コークス炉	17.6月	★19.9月 稼働(北海製鉄コークス全炉団リフレッシュ完了)			
名古屋 3コークス炉	18.11月	★21.5月 稼働			
大分 2コークス炉	22.8月	★25下期 稼働			
君津 3コークス炉	22.6月	★26上期 稼働			
八幡 最新鋭ブルームCC新設	16.3月	★19.5月 稼働			
広畑 冷鉄源溶解プロセス刷新	19.11月	★22.10月 電気炉商業運転開始 ★23上期溶解炉休止			

## ◆世界に通用する戦略商品の質・量両面の強化

案件	公表	～FY19	FY20	FY21	FY22～
電磁鋼板 能力・品質 向上対策	八幡 その1/その2	19.8月/20.5月			★23上期フルアップ
	広畑 その1/その2	19.11月/20.11月			
	広畑 その3	21.3月			★24上期フルアップ
超八行鋼板の 供給体制強化	君津 6CGL建設	18.4月		★ 21.1月 稼働開始	
	名古屋 次世代型 熱延ライン新設	21.3月			★ 26.1Q 稼働開始

# 諸施策進捗状況 設備・商品・事業の選択と集中<海外>

凡例：今回新規施策  
 ★ 予定 ☆ 実行済み ☆ 変更




## ◆地産地消化に対応した海外事業の深化

案件	公表	～FY19	FY20	FY21	FY22～
AM/NS India(エッサール)	18.3月	★19.12月 共同買収完了 ★21.12月 東部新製鉄所建設に向けた 用地利用提案を州政府が承認 ★22.4月 薄板設備新增設を決定@ハジラ ★22.4月 再生可能エネルギー-電力の供給源を確保 ★22.9月 西部ハジラ製鉄所での能力拡張投資 港湾・電力関連設備会社の買収を決定			
AM/NS Carvert 電炉新設	20.11月	★23上期稼働			
G/GJ Steel 買収	22.1月	★22.1月株式譲渡契約を締結 ★22.3月 公開買付けが完了			

## ◆役目を終えた事業、シナジーの薄れた事業の撤退・再編

案件	～FY19	FY20	FY21	FY22～
Bahru Stainless 売却 (マレーシア ステンレス鋼板事業)	★ 18.12月 売却			
ZNW 解散 (中国 特殊鋼冷延鋼板事業)	★ 19.12月 営業生産停止			
NAT 売却 (米国 ステンレス鋼管事業)	★ 20.2月 売却			
N-EGALV 解散 (マレーシア 電気亜鉛メッキ鋼板事業)	★ 20.6月 営業生産停止			
I/N Tek Kote 売却 (米国 冷延・メッキ鋼板事業)	★ 20.12月 売却			
PATIN 売却 (中国 ブリキ事業)	★ 20.12月 売却			
VSB 売却 (ブラジル シームレス鋼管事業)	★ 21.3月 売却			
VAM USA 売却 (北米 油井管継手加工事業)	★ 21.7月 売却			
PEXCO 売却 (北米 シームレスステンレス鋼管事業)	★ 22.4月 売却			
NSCI 撤退 (北米 冷間圧造用鋼線事業)				

凡例：今回新規施策 ★ 予定 ☆ 実行済み ☆ 変更

案件	～FY19	FY20	FY21	FY22～
NSCarbolex™ Solution	 <span style="float: right;">★ 22.11月 ブランド立上げ・ブランドロゴの決定</span>			
ハイン鋼板	★19.1月 “NSafe®-AutoConcept” 発表 ★ 21.1月 超ハイン鋼板供給体制強化 君津6CGL稼働開始 ★21.5月 “NSafe®-AutoConcept” リニューアル技術拡充、ラインアップ強化 ★ 21.10月 難成形部品のせん断成形工法が採用			
電磁鋼板	☆ 23上期 電磁鋼板 能力・品質向上対策 八幡①②, 広畑①② フルアップ ☆ 24上期 広畑追加投資 フルアップ			
エコリーフ 環境ラベル取得	 ★ 19.12月 H形鋼9製品、20.3月 カルバール®-ヒーム™(H形鋼)、20.10月 プリ3製品、21.5月 油井管・ラインパイプ、21.7月 スマートヒーム®(H形鋼)、21.9月 建築用厚鋼板 ★ 21.12月 同ラベル表示プリ製品の販売開始 ★ 22.2月 棒鋼・線材製品 ★ 22.4月 当社薄板7製品、日鉄スチールのH形鋼 ★ 22.6月 棒線工程省略鋼 ★ 22.7月 エコリーフマークの缶容器への導入 ★ 22.10月 軌条製品にてエコリーフ認証取得			
NSCarbolex™ Neutral	 <span style="float: right;">★ 22.11月 ブランドロゴの決定                      ☆ 2023年度上期 販売開始予定</span>			
脱炭素・循環型社会 の構築に向けて	★ 19.5月 TCFDへの賛同を表明 ★ 20.6月 経団連“Challenge Zero”に賛同 具体的な10の取り組みを公表 ★ 21.7月 4年連続でESG投資指数構成銘柄入り “FTSE4Good Index Series”, “FTSE Blossom Japan Index” ★ 22.7月 初のESG投資指数構成銘柄入り “MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数” “MSCI ESG Leaders Indexes”			

# 諸施策進捗状況 DX推進 働き方関連等

## DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進

凡例：今回新規施策  
 ★ 予定 ★ 実行済み ☆ 変更

案件	～FY19	FY20	FY21	FY22～
DX推進体制		★ 16.4月 高度IT活用推進室設置, NSSOL IoXソリューション事業推進部設置	★ 17.10月 NSSOL AI研究開発センター設置 ★ 18.4月 インテリジェントアルゴリズム研究センター設置 ★ 20.4月 デジタル改革推進部設置	
IT技術開発		★ 18.9月 安全見守り全社展開 ★ 19.4月 NS-DIG®導入		★ 22.3月 製鉄所現場の重機操業をAI化 ★ 22.4月 NS-IoT 多製鉄所のセンサデータを遠隔一元管理 ★ 22.5月 統合データプラットフォーム「NS-Lib」を構築
ローカル5G自営無線網			★ 20.8月 室蘭製鉄所でのローカル5Gを見据えた自営無線網適用検証を開始 ★ 21.11月 ローカル5G無線局免許の取得	
製鉄所でのドローン利活用拡大			★ 21.8月 関西製鉄所和歌山地区で包括申請を実施 他製鉄所でも順次申請を進めていく方針 ★ 21.11月 ドローン壁面補修の実証試験を実施 ★ 22.7月 小型ドローン「IBIS」の大型構造設備での実機運用開始→狭所での高精度撮像が可能に	

**DXの推進に向けて、2021～25年度に合計1,000億円以上の投資を決定  
 デジタル改革施策を推進するDX人材の育成を実施中**

### 働き方関連等

案件	～FY19	FY20	FY21	FY22～
24時間対応可能保育所		★ 19.4月 24時間対応可能保育所5か所目(大分、君津、八幡、名古屋、広畑) ★ 21.12月 6か所目(鹿島)開所 ★ 22.1月 7か所目(室蘭)開所		
勤務制度		★ 16.4月 キャリアターン(退職者再雇用)制度、配偶者海外転勤同行休職制度導入 ★ 19.4月 テレワーク制度試行導入(11月正式導入) ★ 20.4月 転勤免除制度導入 ★ 19.4月 定年65歳引上方針決定 →★ 21.4月 適用開始 ★ 22.4月 リカレント教育休職の新設		



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。